

〈南薩森林計画区〉

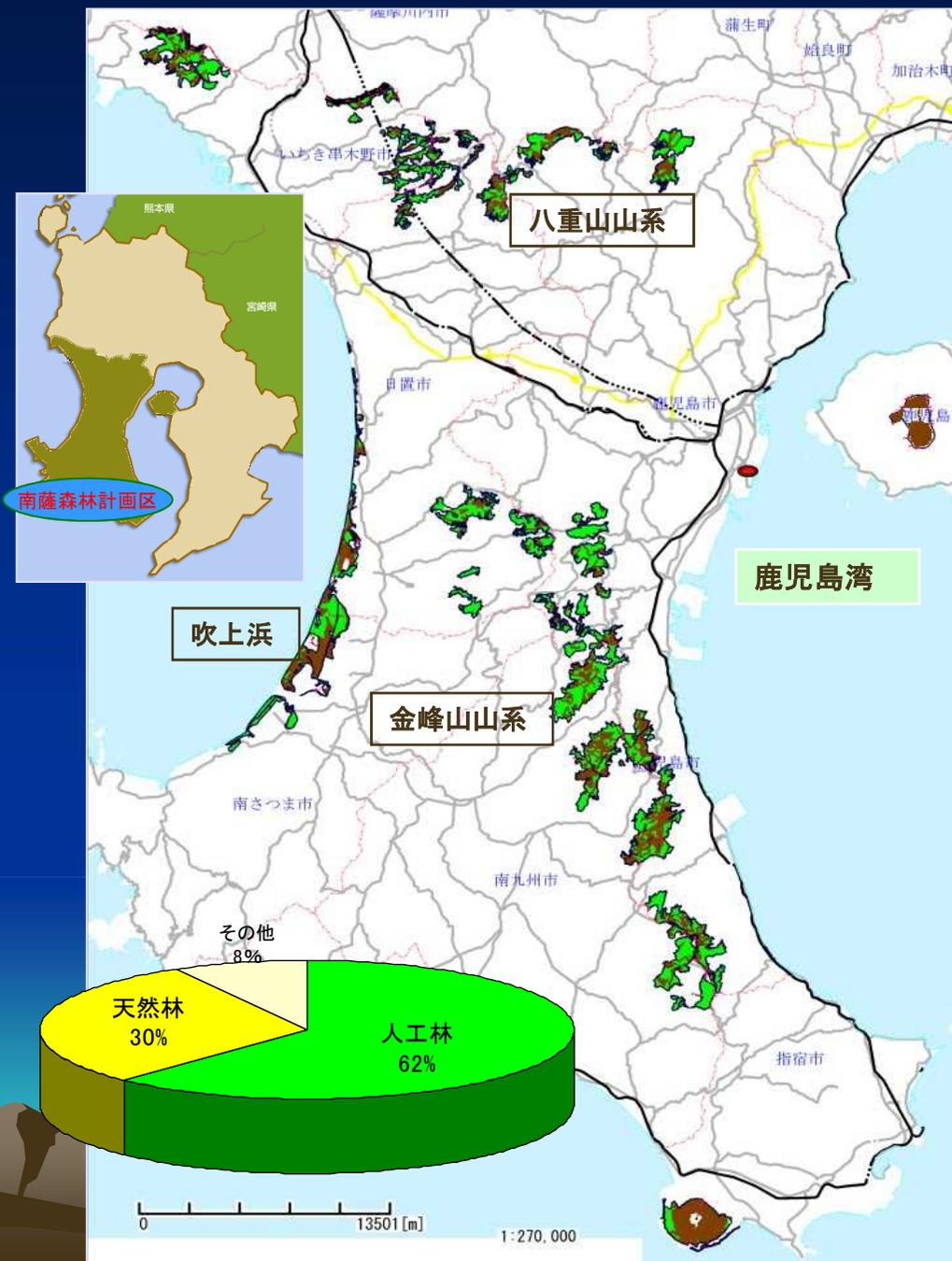
**次期森林計画についての  
森林管理署の検討方向**

鹿児島森林管理署

# 1. 現行計画の概要(平成21年4月1日~26年3月31日)

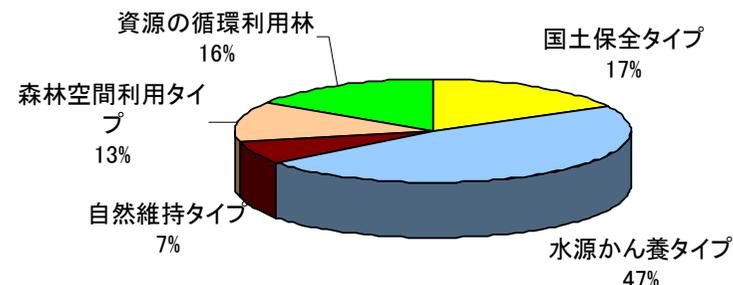
## (1) 森林計画区の概要

- ・ 南薩森林計画の対象は、薩摩半島と鹿児島湾中央の桜島からなり、八重山山系の森林と金峰山系の森林を中心とした国有林野 9,973haです。
- ・ 計画区内の全森林面積の10%にあたり、人工林が62%、天然林が30%を占めています。
- ・ 日本三大砂丘の一つである「吹上浜」など長大な砂丘海岸線と優れた森林景観にも恵まれており、森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。
- ・ カシ類、シイ類等の天然広葉樹林、スギ人工林、クロマツを主体とする防風林等からなっています。



# ○機能類型に応じた管理経営

個々の森林を、重点的に発揮させるべき機能に応じて、次の3つの類型に区分すると共に森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針に基づき適切な管理経営を行っています。



区分		面積ha	機能
水土保持林	国土保全タイプ	1,724	土砂の流出・崩壊、落石等の山地災害による人命・施設の被害の防備その他の安全で快適な生活環境と国土基盤の保全・形成に係る機能を重視
	水源かん養タイプ	4,674	国民生活に欠かせない良質で豊かな水の供給に係る機能を重視
森林と人との共生林	自然維持タイプ	687	原生的な森林生態系からなる自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存等自然環境の保全に係る機能を重視
	森林空間利用タイプ	1,274	スポーツ又はレクリエーション、教育文化、休養等の活動の場や優れた景観の提供及び都市又はその周辺の風致の維持に係る機能を重視
資源の循環利用林		1,613	公益的機能の発揮に配慮しつつ、効率的に木材等の林産物の生産を行うことを重視

(注) 不要存置林野4haを除く。四捨五入の関係で、内訳は合計と一致しない。

## (2) 計画の概要

### ① 多様な森林づくりの推進

人工林の主体が壮齢林であり、また、本計画区の国有林野の大半が集落等の上流部に位置し水源かん養等の公益的機能の高度発揮が求められることから、適切な間伐等の森林整備を進めるとともに、多様な森林への誘導と森林における生物多様性の保全を図っています。

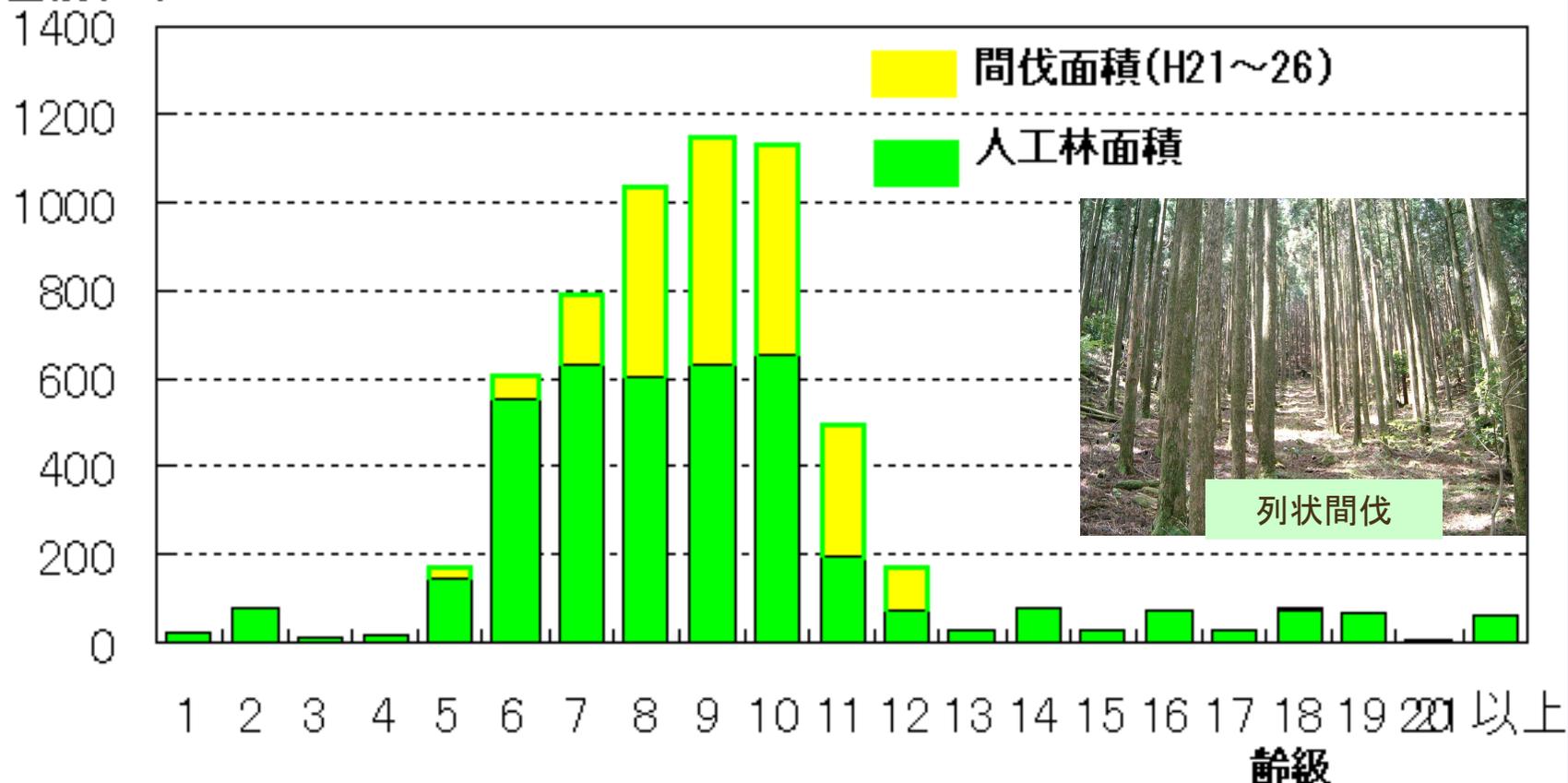


## ② 間伐を通じた地球温暖化防止の推進

本計画区の人工林の面積は約6,156haで、間伐対象となる16年生から60年生の人工林の面積は約5,560ha（人工林面積の90%）です。

また、現行計画（H21～26）では間伐を約2,097ha計画しており、地球温暖化防止のためにも間伐を推進しています。

面積(ha)



注：1年齢級は1～5年生を表します。

### ③ 低コスト林業の実現と木材の安定供給

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林の整備とともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



集成材工場や合板工場、製材工場等の原材料となる木材を安定的に供給する「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、コンテナ苗を導入し低コスト造林による森林整備を推進しています。

#### ④ 国有林野の維持及び保存

日本三大砂丘の一つである「吹上浜」の長大な砂丘海岸線と優れた森林景観の維持及び防風林の保存を行うため松くい虫等の森林病虫害被害対策に努めています。

また、林野巡視による山火事の防止、不法投棄防止など適切な管理に努めています。



民有林と連携し特別防除により松くい虫被害対策に努め、吹上浜周辺の防風林及び森林景観を維持しています。

地方自治体等と連携しクリーン作戦を行うなど、森林の適切な管理に努めています。

## ⑤ レクリエーションの森の保健・文化的利用の推進

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察、野外スポーツ等に適した森林をレクリエーションの森として設定し、地域の方をはじめ多くの方々に提供しています。

種類	名称	概要	面積 (ha)
風致探勝林	吹上浜	クロマツを主とする林分で海岸線は日本三大砂丘の一つである。潮害防止に大きな恩恵を与えると共に、レクリエーションの場として地域住民に寄与しています。	1,059



## ⑥ 国民参加の森林づくりの推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティア等の方々と協力して海岸林の保全を図っています。



地元ボランティア団体等にフィールドを提供し、協働して、海岸林等に植樹・保育を行い白砂青松の維持・保全に取り組んでいます。

国民や企業の自主的な参加による森林の整備を推進します。



「遊々の森」により、継続的な林業体験活動の場を提供し森林環境教育の推進に努めるとともに、「法人の森」により、森林づくりに参加・協力したいという企業の要請に応えています。

## ⑦ 流域管理システムの推進

国有林と民有林の連携をより強化し、より効率的な森林整備を推進します。

林業技術向上のための現地研修会を実施しています。



国有林内において、林業事業者、県の林業普及指導員等も参加して、路網と高性能林業機械を組み合わせた低コスト・高効率な作業システムに関する現地検討会を行い、民有林への技術の普及に取り組んでいます。

民有林と協調した効率的な森林整備を推進しています。



民有林と国有林が隣接する鹿児島地域、南薩地域の森林に「森林共同施業団地」を設定し、関係者が連携して路網整備や森林整備を行い、スケールメリットを生かした作業の低コスト化や安定供給体制の強化に取り組んでいます。

## ⑧ 安全・安心の確保に向けた治山対策の展開

安全・安心の確保に向けた効率的な治山対策に取り組んでいます。



鹿児島市の桜島においては民有林直轄治山事業により航空実播工を実施し山腹緑化を行い減災対策等に取り組んでいます。

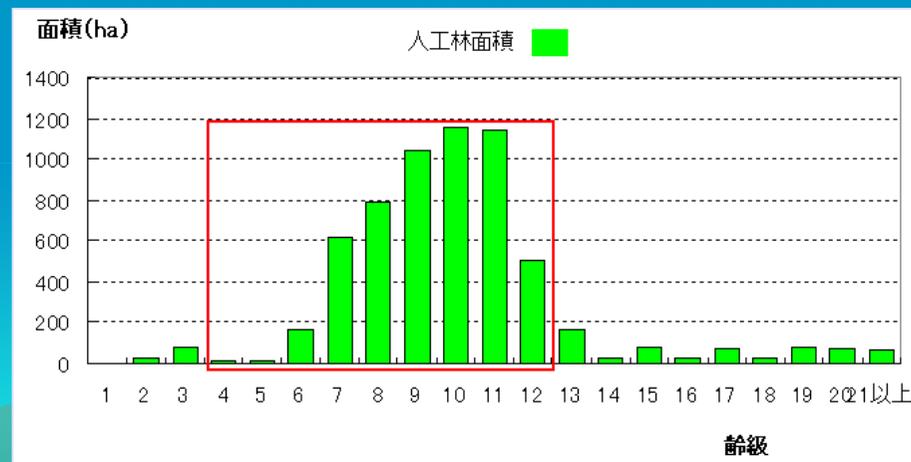


山地災害復旧箇所等において地域住民へ治山工事についての説明会を実施し、治山事業の効果や役割について説明しています。

## 2 次期計画の検討方向

### (1) 管理経営上の課題

- ・ 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高め、ていく必要があります。
- ・ 森林・林業再生プランの具現化に向けた取組として林業の低コスト化と木材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・ エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・ 地球温暖化の防止のため、森林吸収源対策を推進する必要があり、引き続き、健全な森林整備・保全に努めて参ります。
- ・ 次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は88%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも間伐を推進する必要があります。



- ・ 本計画区には日本三大砂丘の一つである「吹上浜」など長大な砂丘海岸線とクロマツにより優れた森林景観にも恵まれていることから、森林病虫害対策などを適切に行うと共に森林病虫害等に強い多様な森林の造成など立地条件に応じ適切に推進していく必要があります。
- ・ 「吹上浜」天神ヶ尾キャンプ場周辺は森林レクリエーションの場として活用されていることからレクリエーションの森を設定しており、これらの国有林野を適切に管理していく必要があります。
- ・ 国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・ 桜島民有林直轄治山事業など国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。



## (2) 計画内容

- ・ 公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進する方向です。
- ・ 海岸保安林の保全機能を維持することとし、松くい虫などにより保全機能の低下した松林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。
- ・ 自然の観察や森林浴などの利用を目的とするレクリエーションの森については、現状を維持する方向です。
- ・ 社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「ふれあいの森」制度を活用して、国民参加による森林づくりを推進する方向です。
- ・ 生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・ これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・ 民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。



## <参考>

### 森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針
水源涵養機能	<p>ダム集水区域や主要な河川の上流に位置する水源地域周辺の森林、地域の用水源として重要なため池、湧水地、溪流等の周辺に存する森林は、水源涵養機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、良質な水の安定供給を確保する観点から、適切な保育・間伐を促進しつつ、下層植生や樹木の根を発達させる施業を基本とするとともに、伐採に伴って発生する裸地については縮小並びに分散を図ることとする。また、立地条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。</p> <p>ダム等の利水施設上流部等において、水源涵養の機能が十全に発揮されるよう、保安林の指定やその適切な管理を推進することを基本とする。</p>
山地災害防止機能 ／ 土壌保全機能	<p>山地災害の発生により、人命・人家等施設への被害のおそれがある森林であって、土砂の流出、土砂の崩壊の防備、その他山地災害の防備のための森林は、山地災害防止機能／土壌保全機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、災害に強い国土を形成する観点から、地形、地質等の条件を考慮した上で、林床の裸地化の縮小並びに回避を図る施業を推進することとする。また、立地条件や国民のニーズ等に応じ、天然力も活用した施業を推進することとする。</p> <p>集落等に近接する山地災害の発生の危険性が高い地域等において、土砂の流出防備等の機能が十全に発揮されるよう保安林の指定やその適切な管理を推進するとともに、溪岸の浸食防止や山脚の固定等を図る必要がある場合には、谷止や土留等の施設の設置を推進することを基本とする。</p>
快適環境形成機能	<p>国民の日常生活に密接な関わりを持つ里山等であって、騒音や粉塵等の影響を緩和する森林、森林の所在する位置、気象条件等からみて風害、霧害等の気象災害を防止する効果が高い森林は、快適環境形成機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、地域の快適な生活環境を保全する観点から、風や騒音等の防備や大気の浄化のために有効な森林の構成の維持を基本とし、樹種の多様性を増進する施業や適切な保育・間伐等を推進することとする。</p> <p>快適な環境の保全のための保安林の指定やその適切な管理、防風、防潮等に重要な役割を果たしている海岸林等の保全を推進することとする。</p>



## <参考>

### 森林の有する機能ごとの森林整備及び保全の基本方針

森林の有する機能	森林整備及び保全の基本方針
保健・レクリエーション機能	<p>観光的に魅力ある高原、渓谷等の自然景観や植物群落を有する森林、キャンプ場や森林公園等の施設を伴う森林など、国民の保護・教育的利用等に適した森林は、保護・レクリエーション機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、国民の憩いと学びの場を提供する観点から、立地条件や国民のニーズ等に応じ広葉樹の導入を図るなどの多様な森林整備を推進することとする。</p> <p>また、保健等のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。</p>
文化機能	<p>史跡、名勝等の所在する森林や、これら史跡等と一体となり優れた自然景観等を形成する森林は、潤いある自然景観や歴史的風致を構成する観点から、文化機能の維持増進を図る森林として整備及び保全を推進することとする。</p> <p>具体的には、美的景観の維持・形成に配慮した森林整備を推進することとする。</p> <p>また、風致のための保安林の指定やその適切な管理を推進することとする。</p>
生物多様性保全機能	<p>全ての森林は多様な生物の生育・生息の場として生物多様性の保全に寄与している。このことを踏まえ、森林生態系の不確実性を踏まえた順応的管理の考え方にに基づき、時間軸を通して適度な攪乱により常に変化しながらも、一定の広がりにおいてその土地固有の自然条件・立地条件に適した様々な生育段階や樹種から構成される森林がバランス良く配置されていることを目指すものとする。</p> <p>とりわけ、原生的な森林生態系、希少な生物が生育・生息している森林、陸域・水域にまたがり特有の生物が生育・生息する溪畔林などの属地的に機能の発揮が求められる森林については、生物多様性の維持増進を図る森林として保全することとする。</p> <p>また、野生生物のための回廊の確保にも配慮した適切な保全を推進することとする。</p>
木材等生産機能	<p>林木の生育に適した森林で、効率的な森林施業が可能な森林は、木材等生産機能の維持増進を図る森林として整備を推進するものとする。</p> <p>具体的には、木材等の林産物を持続的・安定的かつ効率的に供給する観点から、森林の健全性を確保し、木材需要に応じた樹種・径級の林木を生育させるための適切な造林、保育及び間伐等を推進することを基本とする。この場合、施業の集団化や機械化を通じた効率的な整備を推進することを基本とする。</p>

- 注) 1 森林の有する多面的機能については、地形条件、気象条件及び森林の種類などにより発揮される効果は異なり、また、洪水や渇水を防ぐ役割については、人為的に制御できないため、期待される時に必ずしも常に効果が発揮されるものではないことに留意する必要がある。
- 2 これらの機能以外の森林の有する多面的機能として地球環境保全機能があるが、これについては二酸化炭素の固定、蒸散発散作用等の森林の働きが保たれることによって発揮される属地的でない機能であることに留意する必要がある。